

令和8年度 音楽科 年間指導計画 第1学年

東広島市立高屋西小学校

学期	月	題材名	時数	題材の目標	他教科等との関連
前期	4	1.うたっておどってなかよくなるろう	4	(1)曲想と速度や拍などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2)リズム、旋律、速度、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)音楽を聴いて体を動かしたり声を合わせたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、鑑賞の学習活動に取り組み、友達と一緒に音楽に親しむ態度を養う。	学級活動 生活科
	5	2.はくをかんじとろう	7	(1)曲想と拍などの音楽の構造との関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能や、節奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能を身に付ける。 (2)音色、リズム、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)拍やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、友達と一緒に音楽に親しむ態度を養う。	外国語活動
	6 ・ 7	3.はくにのってリズムをとろう	9	(1)曲想と拍などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わり、リズムやフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能や、器楽の技能、反復や呼びかけとこたえを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。 (2)リズム、拍、フレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもったり、どのように音を音楽にしていくなかに思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)リズムや拍に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、いろいろなリズムに親しむ。	
	8 ・ 9 ・ 10	4.みのまわりのおとにみみをすまそう	3	(1)身の回りの様々な音の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付ける。 (2)身の回りの音や呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、声の出し方やつなげ方を試して、音楽づくりの発想を得る。 (3)身の回りの音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組み、身の回りの音への意識を高める態度を養う。	
		5.どれみとなかよくなるろう	8	(1)曲想と音色などの音楽の構造との関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、歌唱や器楽の技能を身に付ける。 (2)音色、旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)階名と、鍵盤ハーモニカの音色や演奏の仕方に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、友達と仲良く学習する態度を養う。	
		6.せんりつでよびかけあおう	7	(1)曲想と旋律、呼びかけとこたえなどの音楽の構造との関わり、音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能や、互いの歌声を聴いて、声を合わせて歌う技能、呼びかけとこたえを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。 (2)音色、旋律、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)呼びかけ合う音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られる旋律の呼びかけ合いに親しむ。	
後期	11	7.がっきとなかよくなるろう	6	(1)曲想と音色などの音楽の構造との関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わり、音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて、打楽器を演奏する技能や、反復や呼びかけとこたえを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。 (2)音色、リズム、反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもったり、どのように音を音楽にしているかについて思いをもったり、曲や演奏のよさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)打楽器の音色や演奏の仕方に興味をもち、互いの音の出し方を比べながら表現し、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽、音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られる打楽器の音色に親しむ。	
	12	8.ようすをおもいうかべよう	8	(1)曲想と音色、速度、旋律、強弱などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能や、音色に気を付けて、旋律楽器を演奏する技能を身に付ける。 (2)音色、速度、旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)音楽や歌詞の内容を基に情景を思い浮かべる学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、鑑賞の学習活動に取り組み。	
	1	9.にほんのうたをたのしもう	6	(1)曲想と旋律、拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2)旋律、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのような歌い方や遊び方にするかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)わらべうたの旋律や遊びに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、鑑賞の学習活動に取り組み、生活の中の遊びに生かす。	生活科
	2 ・ 3	10.みんなであわせたのしもう 国歌・校歌	10	(1)曲想と旋律や強弱などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、歌唱や器楽の技能を身に付ける。 (2)音色、旋律、音の重なり、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)歌声や楽器の音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、友達と一緒に表現する楽しさを感じる。	学校行事
年間授業時数			68		